

| 授業科目 感染看護学実習Ⅳ (高齢者施設における感染管理活動) | 科目概要・形式 1 単位 45 時間 実習科目 | 配当年次 博士前期 2 年次 通年開講 | オンライン参加 可・不可 |
|---|--|---------------------------|-----------------|
| 科目責任者 | 福井 幸子 | | |
| 担当者 | 福井 幸子、新改 法子、成田 怜央 (特養施設長：非常勤)、 長尾 由香子 (特養看護師：非常勤) | | |
| 1. 科目のねらい・目標 | | | |
| <p><ねらい> 高齢者施設等で暮らす高齢者や易感染症患者および取り巻く人々に対して必要な感染症看護専門看護師の役割、機能について探究する。</p> <p><目標> 1) 高齢者施設における平時および緊急時における感染対策への理解を通して、感染拡大防止のための感染症看護専門看護師の役割について説明できる。 2) 高齢者施設で生活している感染症患者または易感染者、及び取り巻く人々に求められる感染症看護専門看護師の役割について説明できる。</p> | | | |
| 2. 授業計画・内容 | | | |
| ■ 高齢者施設における感染管理活動実習 (1 単位) | | | |
| 1) 実習日数：8 日間 40 時間 9:00～16:00 (実習時間は実習施設と調整) | | | |
| 施設実習 5 日間 30 時間、学内実習 3 日間 15 時間 | | | |
| 2) 実習目標：1)～2) | | | |
| 3) 実習期間：8 月～9 月 | | | |
| 4) 実習内容 | | | |
| (1) 学内オリエンテーションと計画作成 (1 日間 4 時間) ※実習要項と一致させました | | | |
| ① 学生は、地域で生活する場 (在宅、施設等) や感染リスク、医療機関と地域の連携を図る院内外の | | | |
| 取り組みなどについて自己学習をして実習に臨む。 | | | |
| ② 学生は、実習目的および自己の課題に基づいて、担当教員に指導を受けながら実習計画書 (様式 1) | | | |
| を立てる。 | | | |
| ③ 学生と実習指導者及び担当教員で打ち合わせを行い、具体的な実習の進め方について調整を図る。 | | | |
| (2) 施設実習 (5 日間 30 時間：特別養護老人ホーム) | | | |
| ① 高齢者施設等の生活の中で、感染に繋がるリスクの把握と早期発見や予防技術を修得する。 | | | |
| ② 医療機関と高齢者施設の連携推進を図るための感染症看護専門看護師の役割、機能を修得する。 | | | |
| ③ 看護・介護業務改善会議、感染対策委員会に参加 | | | |
| ④ 実習最終日、担当教員および実習指導者を交えた学生カンファレンスを学生主導で開催する。 | | | |
| ⑤ 毎日 30 分程度、学生と実習指導者間でその日の振り返りと翌日の行動予定の確認を行う。 | | | |
| ⑥ 日々の実習内容と振り返りを記録する。 | | | |
| (3) 学内実習 (2 日間 11 時間) | | | |
| ・実習中：実習の学びやカンファレンス資料をまとめる。 | | | |
| ・実習後：施設実習終了後、実習目標と自己の実習目標に沿って学びを振り返り、学内で報告会を行 | | | |
| う。 | | | |
| - テーマ：高齢者施設における感染管理活動を通じた感染症看護専門看護師の役割り | | | |
| - 内容：対面またはオンラインで報告会を開催し、発表と指導者からの意見を心得て考察を深める。 | | | |
| - 参加者：高齢者施設 (施設長、看護師)、教員 | | | |
| ※実習指導者はオンライン参加 | | | |
| 5) 実習施設、指導者 | | | |
| 特別養護老人ホームつくし荘 施設長、看護師 | | | |

<実習指導体制>

- 1) 教員および実習指導者・調整者は実習記録にコメントし、最終カンファレンスに参加し指導する。
- 2) 教員は、施設の実習指導者・調整者と連携して、学生の教育環境を調整する。また、毎日または隔日にオンラインで学生の実習状況を確認し、指導する。
- 3) 実習指導者は、入所者・利用者のケアや介護に関わる介護士や多職種と連携し、地域包括ケアシステムでの感染制御について考える機会を提供する。

詳細については、別途配布する「感染看護学実習要項」（青森県立保健大学大学院健康科学研究科）を参照のこと。

3. 教科書、参考書

指定しない。実習状況によって随時、提示する。学内での既習事項を各自で効果的に活用すること。

4. 成績評価方法

実習への取り組み状況（10%）、レポート（60%）、報告会プレゼンテーション及び意見交換（30%）により総合的に評価する。

5. 受講要件

感染症看護専門看護師コースの学生は必修

6. 社会人学生に対する配慮

相談があれば個別に対応する。

7. その他

- ・ 課題内容について文献検討を行い、プレゼンテーション資料を作成して臨むこと。
- ・ 状況に応じて Webex meeting または Zoom を用いた遠隔講義を実施する。